

平成 27 年 4 月 21 日
東京大学大学院情報理工学系研究科

成績評価に係る資料が外部から閲覧可能となった件について

本研究科教員が、平成 27 年 4 月 6 日から行った研究室のローカルサーバーのシステム変更とその際の誤操作により、当該教員が担当した一授業科目に係る成績評価に係る資料が外部から一時的に閲覧可能になりました。成績評価に係る資料は、当該教員が個人的に整理したメモであり、その講義を受講した学生 136 名の氏名、学籍番号、成績が記されていました。（136 名のうち 70 名は氏名、学籍番号、成績 他 66 名は氏名、学籍番号）

講義の受講者だけが知る URL をたどることで、閲覧が可能となっていました。13 日朝に、学生からの通報を受け、直ちにデータの削除を行うとともに、同日、Google のキャッシュの削除も完了いたしました。

当該メモが一時閲覧可能となり、個人情報を公開する事態を招きましたことを深くお詫び申し上げます。

ファイル内に記されている方々には、文書にて報告を行うとともにお詫び申し上げます。

今後におきましては、個人情報及び職務上守秘・保護すべき情報の管理にかかわる注意及び情報セキュリティポリシーを、本研究科全構成員に改めて周知徹底し、より一層、再発防止に努める所存です。

なお、現時点では、本件による当該個人情報の不正使用などの事実は確認されておりません。

本学において、成績評価に係る資料が外部から一時閲覧可能な状態となっていたことにより、当該学生をはじめ関係者の皆さまにはご心配とご迷惑をおかけして深くお詫び申し上げます。

今後、本学教職員に対して、あらためて個人情報及び職務上守秘・保護すべき情報の取扱について周知徹底するとともに、必要な対策を講じて再発防止に取り組む所存であります。

東京大学理事（情報セキュリティ担当）

戸渡 速志